

## 予備自衛官等協力事業所表示証交付

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1 等海佐 松田辰雄）は、昨年10月からの予備自衛官等協力事業所表示証交付の開始に伴い、3月22日（火）～4月19日（火）の間、平成27年度神奈川地本長認定事業所11社に対し、認定書及び表示証を交付した。

本制度は、予備自衛官等を雇用している事業所を対象に、予備自衛官等が訓練に参加しやすい環境づくりに努めている事業所を防衛大臣、又は、地方協力本部長が認定し、表示証の交付及び省HPへの掲載により、当該認定事業所を紹介する制度である。

4月19日に横浜市戸塚区の「総合警備保障株式会社警送神奈川支社」に対して本部長が自ら表示証を手渡し、全事業所への表示証等の交付を終了した。

支社長からは、平素の自衛隊の活動についての激励と引き続き協力させてもらう旨のコメントを頂いた。

神奈川地本は、今後とも本制度を活用し、協力事業所の新規開拓及び予備自衛官等制度の周知に繋げていきたいとしている。



総合警備保障株式会社警送  
神奈川支社長に表示証を  
交付する本部長

## 三ツ池公園フェスティバルにて広報活動

神奈川地方協力本部横浜出張所（所長 服部 3 陸佐）は、5月14日（土）、横浜 市鶴見区の三ツ池公園で開催された「三ツ池公園フェスティバル」において、自衛隊 広報ブースを設置し、広報活動を行った。

広報ブースでは、自衛隊小型車両の展示、ちびっこ迷彩服の試着等を行い、地域住民との交流を図った。特に、迷彩服試着コーナーには、たくさん親子連れの行列ができて、ミニ自衛官姿で展示車両の前で記念撮影を実施するなど、来場者からは、「可愛い」「格好いい」など多くの声がかれた。また、災害派遣活動パネル（熊本地震災害）では、「大変ですね、頑張ってください」など、自衛隊の活動に対する慰労の言葉が多く数聞かれ、募集相談員も激励に訪れ、大いに賑わいをみせた。

横浜出張所は、「今後も、地域と密接に連携した様々なイベントに参加して、自衛隊の活動を積極的にアピールしていきたい」としている。



ブースに激励に訪れた  
募集相談員

## 隊友会県央支部久里浜駐屯地部隊研修を支援

神奈川地方協力本部厚木募集案内所（所長 酒井 1 海尉）は、5月19日（木）、久里浜駐屯地において、神奈川県隊友会県央支部の部隊研修を支援した。

本研修は、隊友会県央支部が毎年実施しているもので、参加者の中には、陸上自衛隊を初めて研修する方が多数含まれ、研修は概要説明、資料館見学、体験喫食、部隊及び装備品説明など、終始熱心に聞き入っていた。中でも体験喫食は、「想像どおりボリューム満点ですね」と驚きの声があがった。

参加者からは、「久里浜駐屯地が現在まで果たしてきた役割を深く知ることができ、大変有意義な研修でした」と声が聞かれ、とても充実した研修となった。

厚木募集案内所は、「今後も、部隊研修を通じて自衛隊を理解してもらうことと、募集基盤の拡充に努め、任務達成に邁進していく」としている。



装備品説明の様子